

創り拓く 私たちの未来

主催：野村総合研究所 開催日：2014年10月9日

会場：大阪国際会議場

野村総合研究所（NRI）は、企業理念「未来創発」に基づいた提言をする場として、2003年より「NRI未来創発フォーラム」を毎年開催している。12年目の開催となる今年（2014年）は、2007年以来、7年ぶりに大阪と東京、名古屋の3都市で開催した。

今年は、「創り拓く 私たちの未来」をテーマに、新しい「価値」創りに自ら取り組まれているさまざまな分野のパイオニア・先駆者を招き、講演とパネルディスカッションを行った。

■講演1「未来を生き抜く。——自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ」（教育改革実践家 藤原和博氏）

東京都の義務教育における初の民間人校長としての経験を活かし、新しい教育の仕組みづくりに取り組んでいる教育改革実践家の視点から、未来を生き抜くための考え方の提案があった。

客席の来場者同士で話をするワークショップなどを採り入れながら、自分の未来は自分で切り拓いていくことの必要性について語られた講演に対して、来場者からは、「とても面白く気づきが多かった」「生きた内容で元気づけられた」という意見が多く寄せられた。

■講演2「2020年—日本。——新たな地平線の創造」（野村総合研究所主任コンサルタント 松下東子）

「2020年」を区切りとする日本の未来を提案した。具体的には、「女性の活躍」「地方創生」「グローバル化」「技術革新」——の4つのキーワードを軸に、NRI独自の調査データや、すでに取り組まれ

成果の上がっている先進事例などを紹介した。また、講演テーマの「日本」の後に「。」を付け加えたのは、2020年を一つの区切り＝「。」として、その先の新たな地平線に幸福な超成熟化社会を切り拓き、そして「ひきつける力」によって日本が再成長する考え方を示したものであると述べた。

■パネルディスカッション「創り拓く私たちの未来」

パネルディスカッションでは、浅谷治希氏（LOUPE代表）、太田雄貴氏（北京オリンピックフェンシング銀メダリスト）、塚本昌彦氏（神戸大学大学院工学研究科教授）、久世理恵子（NRI主任コンサルタント）をパネリストに、蟹瀬誠一氏（国際ジャーナリスト）をモデレーターに迎え、多様な分野で活躍するパネリストの新しい「価値」創りについて、自分たち自身のきっかけや経験をもとに重ねられたディスカッションを通して、日本は未来への投資がもっと必要である、危機感を持つことが改革につながる——などが提言された。

また、参加いただいた方に向けてパネリストから、「自分たちは上の世代からたくさんの愛をもらった。だからこそ自分たちも、下の世代に愛をあげたいと思っている。下の世代の人たちを、ぜひもっと愛しんで欲しい」というメッセージが贈られ、会場からは賛同と共感の大きな拍手がわき上がった。

本フォーラムについてのお問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部 潘翠玲

電話 03-6270-8100

電子メール：mirai-forum@nri.co.jp